

営農だより

野菜版 5号

J A 御 殿 場 農 業 振 興 課
2020年(令和2年)5月7日発行

☆適期管理・適期防除・適期収穫で品質の良い野菜を栽培しよう!!

落花生の栽培

栽培してみませんか?

1. 畑の準備

①栽培適温 25~28℃ ②連作を嫌う ③石灰を必ず施す ④夏の水不足に注意

- ・避ける畑として排水、日当たり不良。以前に茎腐病や白絹病が発生している。
- ・播種2週間前に石灰肥料を10~12kg/1a施用(pH5.5~6.5)
- ・2cm以下の土塊が70%程度になるよう耕起・碎土する。
- ・薬剤処理【コガネムシ害虫対策】⇒播種時に播溝土壌混和又は全面土壌混和商品名
フォース粒剤 1a当たり使用量 900g

2. 種まき

播種適期：5月中旬～5月下旬 発芽最低温度 12℃

- ・種は横置きにして指で2~3cm程度沈め2粒まきとして、土を掛ける。
(深植えは腐ることがある。2粒まく事で発芽が安定します。)
- ・基本的に播種後の灌水は不要。(過湿により種子が腐りやすくなります。)
- ・防寒として5月上旬までの種まきは不織布のべた掛けをする。

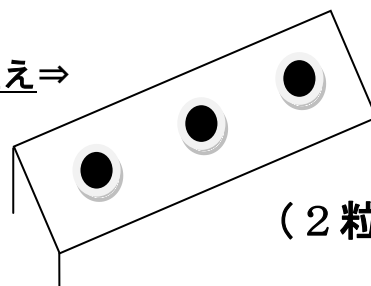
3. 施肥基準(1a当り)

	資材名	施肥量
堆肥	牛ふん堆肥	50 kg
土壌改良材	苦土石灰(粒)	10~12 kg
元肥	くみあい化成13号	10 kg

4. 畝作り

- ・95cmマルチ栽培
- ・畝幅 50cm
- ・株間 『郷の香』20~25cm
『ナカテユタカ』25~27cm

1条植え⇒



(2粒まき/1穴)

品 種	粒の大きさ	特 性
郷の香	大粒	早生。多収。食味は良好。
ナカテユタカ	中粒	中生。良食味品種。

5. 土寄せ

- ・発芽してから40日位で開花が始まるのでマルチを除去し土寄せする。
- ・莢の充実を図る為に畑のカルシウムを6kg/1aを施肥。(マルチ除去時)

6. 収穫

- ・ 9月中旬～10月中旬。

収穫目安：花が咲いてから…(開花 50%)

(煎り)

(茹で)

ナカテユタカ 80日 煎りより5～10日早め

7. 貯蔵

落花生の貯蔵は、環境条件に十分留意する必要がある。莢での貯蔵のほうが豆の場合よりも品質の変化は少ないが、貯蔵中の温度と湿度は外観品質や食味の良否に大きく影響する。特に湿度の影響が強く、70%を越えるような場合にはカビが生じ品質が悪化する。このため、通常の保管方法では春先くらいまでが限界で、梅雨時期までの貯蔵は困難である。一方、湿度70%以下の条件では常温でも夏まで、低温(13℃)では1年間の貯蔵が可能である。また、-20℃での冷凍貯蔵は品質への影響が少なく、長期間の貯蔵が可能である。ただ、冷凍貯蔵されたものは加工の際に渋皮が剥けやすくなる。

ナスの栽培

1. ほ場条件

- ・ 多湿ほ場は避ける。

排水対策をしっかりと行い、乾燥時は灌水を行う。

- ・ 微酸性～中性の pH 6～7 が適している。⇒御殿場市・小山町の畑は大体が pH 6.5～7.0 程度

2. 施肥基準

(1a 当り)

	資材名	施肥量
堆肥	牛糞堆肥	200kg
土壌改良材	苦土石灰(粒)	8 kg
	粒状ようりん	6 kg
元肥	園芸化成 s550	8 kg
	ジシアン有機 s806	4 kg
追肥	新 FTE s280	2.5kg(初回)
	NK 化成 2号	2 kg(2回目以降)

3. 定植

- ・ 定植は 5/15 頃 (1番花の開花直前苗が適期)

若苗定植 …過繁茂になり⇒石ナスになりやすい。

老化苗定植…活着不良になり、だんだん草勢が弱くなり⇒収量が減る

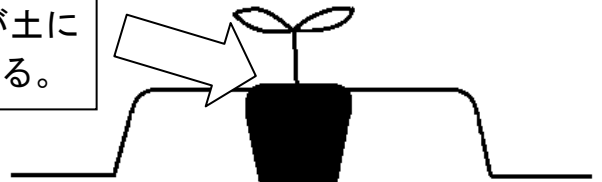
- ・ 2週間前からハウスより出し、環境にならしておく。
- ・ ガッチリ苗を植える。
- ・ マルチは天気の良い日に早めに張り、地温を高める。
- ・ アブラムシ対策として定植時にダントツ粒剤を 1g/株に散布する。

ナス

1番花の蕾が膨らんで紫色に色づいたところが定植適期です。

蕾の小さな若苗定植は、定植後過繁茂になりやすく、1番花が咲き終わっているような老化苗定植では、活着不良になりやすいので、定植適期を逃さないようにする。

定植時、深植えに注意する。
特に接ぎ木苗は接合部が土に埋まらないように注意する。



キュウリの定植適期

本葉3～4枚程度の若苗で定植すると根の活着がスムーズになり、初期の生育が安定する。また、苗としては節間が伸びすぎてなく、葉色は緑色で艶があり、厚みがあるものがのぞましい。

定植時期 5月中旬以降

キュウリ定植適期苗



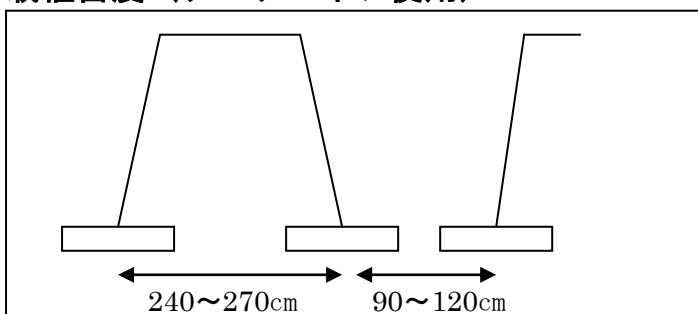
定植時期の目安

- ・遅霜の心配がない時期
- ・最低気温が10℃以上
- ・最低地温が15℃以上

定植

- ・播種後、35～40日で本葉3～4枚程度に仕上げる。(根鉢がガッチリしないうちに植える)
- ・マルチは天気の良い日に早めに張り、地温を高める。
- ・植穴に十分灌水しておき、定植後は灌水を控えて根を深く伸ばす。
キュウリは強風に弱い⇒天気の良い日を選んで定植する。
キュウリは乾燥に弱い⇒定植後1週間は株元が乾かないようにする。

栽植密度 (アーチパイプ使用)



- ・畝間…240～270cm
- ・条間…90～120cm
- ・株間…50～60cm